Magazine for All of the city fans

# KUMAGAYA

TAKE FREE

熊谷市紹介
パンフレット




進め、明日のその先へ
KUMAGAYA



## 関東一の祇園「熊谷うちわ祭」

毎年、7月20日から3日間行われる八坂神社の例大祭。病気を退け五穀豊穣と商売繁盛を祈願するこの祭礼は、山車・屋台が「熊谷囃子」とともに市街地を巡行し、その絢爛豪華さから「関東一の祇園」と称されている。

起源は熊谷宿統一の祭りとして寛延3年（1750年）にさかのぼり、うちわ祭の名前の由来は、明治の頃に料亭「泉州楼」の主人が、祭りの期間中に振る舞っていた赤飯に代わり、渋うちわを配布したことにあると語り継がれており、その後、各町競って山車・屋台を購入・製作し、神輿渡御と巡行による現代のうちわ祭の原型が確立された。

山車・屋台は、巡行中に他町区と出会えば、互いに囃子の腕を競い合うよう、笛・鐘・太鼓の「叩き合い」が行なわれる。全町区そろっての「叩き合い」は毎夜場所を変え、最終日には、全12台の山車・屋台がお祭り広場に集結し、「曳っ合せ叩き合い」「年番送り」が行われる。盛夏の夜空に響く勇壮なお囃子は、見る人皆の心を熱くさせてきた。





締太鼓の音が鳴り響く



祭り期間中に配布されるうちわ



巡行して行宮を参拝



扇形に並んで叩き合い





最大の見せ場
“曳っ合せ叩き合い”
“年番送り”



### 「熊谷うちわ祭」の魅力をもう少し！

お祭り本番に向けて、まちが献灯提灯で飾られ、お囃子の音が鳴り響く様子には心が躍る人も多くいるのではないでしょうか？ 2日目の夜、叩き合い（扇形）が終わった後は、公式には載っていない鎌倉町通りでの叩き合いを楽しむ人も♪

Interview



第弐本町区祇園会所属
**新井 未来** さん

### 熊谷のまちに響く 祭りの鼓動「受け継がれる伝統を感じてほしい」

私がお囃子を始めたのは小学5年生のときでした。毎年、祭りの時期になるといつもの仲間が集まり、その中で過ごす3日間は1年で1番の幸せな時間です。

お囃子の音は熊谷の夏の風物詩で、6月末頃からお囃子の練習の音が聞こえ始めます。まちの景色も祭り仕様に変わっていき、私のようなお祭り人間はとても胸が高鳴ります。

初めて熊谷うちわ祭に来た方は熊谷囃子の音の大きさ、激しさにきっと驚くと思います。町区によって叩き方が全く違うので、ぜひ注目していただきたいです。また、山車が動くときにギシギシと鳴る音は、時代を超えて受け継がれてきたパワーを感じさせてくれます。

昔は男性しかお囃子に参加することができませんでしたが、時代の変化とともに女性も参加することができるようになりました。私も祇園会会員として、伝統をしっかりと受け継いでいきます。一般の方でも、綱を引っ張って山車・屋台を動かすことができるので、ぜひ参加してください！



# 悠久の伝統を感じる

＃熊谷うちわ祭

## 埼玉県熊谷市 About Kumagaya City

熊谷市は、人口約19万人、都心から50～70㎞圏内に位置し、古くは江戸時代に中山道の宿場町として栄えた。現在も鉄道網や道路網が発達した交通の要衝で、農商工バランスのとれた県内有数の産業都市でもあり、県北の中心都市としての歩みを進めている。

また、県内唯一の国宝建造物である歓喜院聖天堂を始め、関東一の祇園と称される熊谷うちわ祭、「さくら名所100選」に選ばれた熊谷桜堤など、歴史や文化・伝統を感じることができる。近年では「スポーツ熱中都市宣言」を行い、スポーツによるまちづくりを推進するとともに、「熊谷スマートシティ宣言」を行い、デジタル技術を活用した持続性のある地域づくりを目指している。

様々な魅力あふれるこのまちを、本冊子から少しでも感じていただきたい。



# 桜の花道を巡る

#熊谷の桜

## さくらのまち熊谷

市内には、多くの桜の名所が点在する。中でも、荒川の河川敷にあり、江戸時代から桜の名所として知られる熊谷桜堤は、熊谷の春を象徴するシンボルだ。その歴史と美しさから、「さくら名所100選」に選定されていて、満開になると、荒川の堤防沿いにおよそ2㎞にわたって約500本のソメイヨシノが咲き誇り、桜のトンネルをつくる情景は圧巻だ。熊谷桜堤では毎年、桜の開花に合わせて「熊谷さくら祭」を開催していて、春の柔らかい陽射しのもと、桜並木の下で花見を楽しむことができる。また、土手に上がると荒川の堤防沿いに続く桜と菜の花を一望できることが特徴で、この絶景を一度眺めたいと県内外から多くの観光客が押し寄せる。夜はぼんぼりで桜がライトアップされ、仕事帰りに立ち寄る人も多く、一日中楽しむことができる。

このほか、春の里山をハイキングしながら望む小江川1000本桜や桜リバーサイドパーク、源平合戦で有名な武士・熊谷次郎直実公にちなみ名付けられた早咲きの熊谷桜が咲き誇る石上寺など、さくらのまちを歩くたびに新しい表情を発見することができる。暖かな春の訪れとともに、熊谷の桜を探しに出かけてみては？



熊谷さくら祭 熱気球搭乗体験



熊谷桜堤



およそ2kmにわたって
約500本咲き誇るソメイヨシノ



石上寺の熊谷桜



Interview

### 熊谷の誇り！
### 国内外から注目を集める熊谷の桜「熊谷ですてきな思い出作りを」



一般社団法人熊谷市観光協会
プロデューサー
**ヤオ ヤオ さん**

私は中国出身で、2011年に留学のため来日し、結婚を機に2年間カナダで暮らしましたが、再び日本へ戻り、熊谷に移住しました。現在は熊谷市観光協会に勤め、熊谷の魅力を国内だけでなく世界へ発信しています。

初めて満開の熊谷桜堤を見たとき、桜と菜の花の美しいコラボレーションに感動しました。「さくら名所100選」に選ばれている桜堤は、東京ではなかなか見られない絶景と注目され、コスプレイヤーや海外からの観光客のフォトスポットとしても訪れる人が増えています。

早咲きの桜として知られ、テレビでも紹介される石上寺の熊谷桜や、旧熊谷堤万平公園の桜など、市内には多くの桜の名所があります。散策にぴったりの小江川1000本桜（江南地区）や、お子さま連れには桜リバーサイドパーク（大里地区）もおすすめです。熊谷さくら祭の期間はぜひ長く滞在して、桜巡りを楽しんでください！



桜リバーサイドパーク

### 「熊谷桜堤」の魅力をもう少し！



毎年、桜の季節になるとたくさんの観光客が熊谷を訪れます。特に、熊谷桜堤はSNS映えの絶景や熊谷さくら祭を楽しむため多くの人が押し寄せ、最近では、結婚式の前撮り撮影をする人の人気スポットにもなっているんだとか♡







小江川1000本桜

# 肥沃な大地で実る

## #熊谷の食文化

### 「農・商・工」発展都市

熊谷市は、南部を荒川、北部を利根川が流れ、2つの大河より育まれた肥沃な土地と豊富な水に恵まれており、農業産出額で県内第7位、年間商品販売額で県内第5位、製造品出荷額で県内第2位と、農商工バランスのとれた県内有数の産業都市であると言える。

熊谷の食文化を支える基盤には、明治時代に農業の近代化を推進した権田愛三（ごんだあいぞう）氏の功績は欠かせないだろう。彼の尽力により地域農業が発展し、高品質な小麦の栽培が可能となったのだ。

熊谷産小麦は、「さとのそら」や「あやひかり」といった品種を中心に、地域の自然と文化が育んだ特産品。これらの小麦は、豊かな風味ともちもちとした食感が特徴で、熊谷の名物「熊谷うどん」や「フライ」といった郷土料理でその魅力を発揮する。「さとのそら」は加工品に向いており、「あやひかり」は滑らかで、コシのあるうどんに適した品種として評価されている。

熊谷の豊かな食文化と味わいを、ぜひ楽しんでもらいたい。





## Interview

### 熊谷が育む 食文化
### 「小麦や伝統の味を守り続けたい」



籠原木部ファーム
**木部 貴之** さん

木部ファームは熊谷で300年続く農家です。東京ドーム約4個分の面積で、米（こしひかり、きぬひかり、彩のかがやき）と小麦（さとのそら）などを栽培しています。

私は父の後継者として6年前に就農しました。最初は分からないことばかりで苦労しましたが、現在は農業大学校を卒業した息子も加わり、三世代で知識を共有しながら頑張っています。

2024年には米不足や米の値上がりが話題になりましたが、肥料や燃料代も高騰しています。その中でも、私たちは品質と食味の向上を常に目指して、地域に貢献していけるよう農業を続けていきたいと考えています。

3年前からは農業大学校の学生を研修に迎えています。最近は農業経験のない非農家の方が一から学ぶ場合も多く、教える側の大変さも感じます。若い人が就農しやすい環境を整え、学生にとっても良い経験となるよう協力していきたいです。



**フライ**
水で溶いた小麦粉に野菜や肉を混ぜて鉄板で焼く名物料理。もとは庶民のおやつとして売られ、ソースに醤油と店ごとの味が楽しめます。



**妻沼のいなり寿司**
古くから妻沼聖天山の参拝客や、地域に愛されるいなり寿司は、甘辛い油揚げで酢飯を包んだ細くて長い形が特徴です。



**地酒**
江戸と結ぶ川の水運によって古くから酒造業が盛んでした。良質な地下水と米の産地でもあり、現在も造り酒屋が残っています。



**熊谷うどん**
全国有数の小麦生産量を誇る熊谷で、熊谷産小麦を50%以上使用し、熊谷で製麺された地産地消のブランドうどんです。

**「100年フード」って？**

文化庁では、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を、100年続く食文化「100年フード」と名付け、文化庁とともに継承していくことを目指す取組を推進しています。



**五家宝**
もち米ときな粉と水あめで作る伝統菓子。優しい甘さが人気で、埼玉三大銘菓と言われています。



**雪くま**
熊谷のおいしい水で作った買目氷をふわふわに削り、各店オリジナルのシロップを使用したかき氷です。口に入れると淡雪のようにふわっと溶けてなくなります。



例年11月に開催される熊谷市産業祭





# スポーツを体感する

#スポーツタウン熊谷



## スポーツの力でまちににぎわいを

熊谷市には、本拠地・活動拠点を置くプロスポーツチーム等が4チームあることはご存じだろうか。男子ラグビーの「埼玉パナソニックワイルドナイツ」、女子ラグビーの「アルカス熊谷」、女子サッカーの「ちふれASエルフェン埼玉」、プロ野球の「埼玉武蔵ヒートベアーズ」の4チームが、ここ熊谷市を拠点にそれぞれ活躍している。

プロスポーツ選手等のプレーを生で観戦することは、迫力や緊張感を直接体感でき、会場の熱気や観客との一体感を楽しむことができる。ぜひ、スタジアムで選手たちのダイナミックなパワーを感じていただきたい。

また、熊谷市には陸上競技場、ラグビー場、野球場、サッカー場、テニス場、公園やジョギングコースなどの豊富なスポーツ施設がそろっていて、市民もスポーツを楽しむことができる。そのほかにも、熊谷さくらマラソン大会や熊谷めぬま駅伝などの参加型イベントもあり、誰もが自分のペースでスポーツを楽しむことができることも魅力のひとつだ。



熊谷さくらマラソン大会







熊谷ラグビー場で行われた
ラグビーワールドカップ
2023フランス大会
パブリックビューイング





## ホームタウン熊谷

### 埼玉パナソニック ワイルドナイツ

ジャパンラグビーリーグワンに所属するラグビーチーム。埼玉ワイルドナイツは、いかなる時も自分たちの想(おも)いを、プレー、行動、各種活動に代えて「夢の実現」に挑み続けます。



### アルカス熊谷

小学生から社会人までの幅広い女性が活躍しているラグビーチーム。市内の小中学校へタグラグビー出前授業を行うなど、熊谷市のラグビー普及活動にも日々励んでいます。



### ちふれAS エルフェン埼玉

2021年(令和3年)に発足した日本初の女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」に所属するサッカークラブ。地域やファンとの関わりを大切にし、多くの方に夢や感動を届けることを目的に活動しているチームです。



### 埼玉武蔵 ヒートベアーズ

プロ野球独立リーグ(ベースボール・チャレンジ・リーグ)に所属する球団。NPB球団への選手も多く輩出していて、これから更なる活躍が期待される勢いのあるチームです。



Interview



埼玉県立熊谷高等学校
ラグビー部監督
**横田 典之** さん

### 熊谷が誇るラグビー文化！ 「スポーツの力で地域を盛り上げたい」

私は熊谷高校ラグビー部の監督を務めて7年目になります。以前は県立深谷高等学校で18年間監督をし、全国大会に9回出場しました。教え子の中には、埼玉パナソニックワイルドナイツで活躍する山沢(拓也・京平)兄弟もいます。

埼玉県北部にはラグビー文化が根付いていて、中学校にもラグビー部があり、シニアラグビーも盛んです。子どもから大人まで、ラグビーを楽しむ環境が整っていることは熊谷の大きな特徴です。

「ラグビーは少年を大人にし、大人にいつまでも少年の心を抱かせる」という格言があります。熊谷高校では、1年生は3か月間ラグビーの授業を受けます。ラグビーは激しいスポーツですが、スポーツマンシップを重んじ、仲間を尊重し、チームのために全力を尽くす経験は、人間的な成長を促して人と人とのつながりをより強固にします。

ワイルドナイツ効果もあり、熊谷のラグビー文化はさらに発展するでしょう。私たち学生チームも強化を図り、全国大会出場を目指して奮闘中です。「スポーツタウン」としての更なる成長を目指し、地域全体でラグビーを盛り上げていきます！

# 壮大な歴史に触れる

＃熊谷の国宝



## 埼玉県内唯一の国宝建造物「妻沼聖天山 歓喜院聖天堂」

治承3年（1179年）に創建され、斎藤別当実盛公が庶民の心のよりどころとして大聖歓喜天を祀ったことに始まる。

本殿歓喜院聖天堂は、江戸時代に発展した多様な建築装飾技法が惜しみなく注がれた華麗な建物であり、技術的な頂点のひとつと言える。これだけの建物が庶民信仰によって実現したことは、日本の宗教建築を考える上で極めて高い価値があることから国宝に指定された。その壮麗さゆえに、「埼玉日光」と称されるほどだ。中には、七福神が碁を打つ姿や子どもの凧揚げなど、どこかユーモラスで当時の平穏な暮らしの様子が伝わってくる彫刻を見ることができるのが特徴だ。

境内には「貴惣門」や「御正体錫杖頭」など、数多くの歴史的建造物や文化財を有しており、厳かな空気が漂う寺院で散策にはぴったりな場所だ。縁結びのパワースポットとして有名で、恋愛だけでなく、商売繁盛や学業成就など、あらゆる良縁を結ぶ御利益があると言われている。

「妻沼の聖天様」は地域の人々に愛されながら、平安から令和の時代へ受け継がれているのだ。





吉祥天と弁財天が双六をしている様子。神様が人々を救うために奔走することなく遊んでいる、平和な世であってほしいという願いが込められているという









Interview

### 観光客の感動の声が 原動力 「その歴史と美しさを感じてほしい」

私たちボランティアガイドは、国宝妻沼聖天山を訪れる方々に、ガイドによる説明と案内を行い、歴史や魅力を伝えることを使命としています。また、ボランティアガイドへの必要な知識、技能の教育にも力を入れており、郷土の歴史と文化の愛護、伝承に寄与することも大切な目的のひとつです。

私は生まれも育ちも妻沼で、ボランティアガイド歴は16年になります。きっかけは同級生からの誘いで、最初は軽い気持ちで参加しましたが、今では年代を超えた新しい友人ができ、活動を通じてたくさんの喜びを感じています。

歓喜院聖天堂は埼玉県唯一の国宝建造物であり、庶民の浄財によって作られたことは稀有なこととして評価のひとつとなりました。聖天堂の美しい彫刻はそれぞれに意味があり、神様や子どもたちが戯れる姿は、平和な時代を象徴しています。

ガイドを通じて、聖天様や妻沼地域の歴史を学ぶうちに、「良いところに生まれ、住んでいる」ということを実感する良い機会にもなりました。

ガイドを担当した方の「わぁ、すごい、きれい！」という声を聞くと、心が温まります。ぜひ一度、聖天山を訪れて、その美しさを実感していただきたいです。



ボランティア国宝妻沼聖天山ガイド
会長
**廣木 英子** さん

### 「妻沼聖天山」の魅力をもう少し！





聖天様の門前、縁結び通りは昔ながらのレトロなお店が並ぶ商店街で、毎年4月と10月には手づくり市が行なわれ、多くの人でにぎわいます！また、仁王門の左右に立つ金剛力士像は、熊谷市内でよく見かける防犯ポスター「監視の目」のモデルとなっています！





境内を散策して
歴史を感じる





歓喜院聖天堂

中門、貴惣門とソメイヨシノ






## 熊谷市へのアクセス

| | | | |
|---|---|---|---|
| 東京から | JR東京駅 | 新幹線で約40分 | JR熊谷駅 |
| | JR新宿駅 | 電車で約1時間10分 | |
| 県内から | JR大宮駅 | 電車で約40分 | |
| | 秩父鉄道秩父駅 | 電車で約1時間10分 | |
| 長野から | JR長野駅 | 新幹線で約1時間10分 | |
| 新潟から | JR新潟駅 | 新幹線で約1時間30分 | |

## 熊谷市公式SNS

X
@kumagayacity

Instagram
@kumagaya_city

LINE
@kumagaya_city

YouTube
@kumagayacity

発行：埼玉県熊谷市　企画・編集：市長公室広報広聴課　TEL 048-524-1111（代表）　2025年3月発行
このパンフレットは25,000部発行し、1部当たりの単価は58円です。

［写真提供］
浅見哲哉　久保海貴　多々良圭吾（五十音順）